

土壤有害物質のリスク管理対策の強化（継続）

2, 345（2, 513）百万円の内数

対策のポイント

農産物の安全を確保するため、土壤有害物質のリスク低減技術の評価等を行い、産地における適切な対策の実施を推進します。

（米のカドミウムの基準値）

現在、食品安全委員会の食品健康影響評価が実施されており、この評価結果を踏まえて国内基準値の見直しが行なわれる見通しです（国内基準値は、食品衛生法で1.0ppm（mg/kg））。

（カドミウム低減技術の例）

【吸収抑制技術】

- ・ 土壤中の酸化・還元状態やpHをコントロールして農作物のカドミウム吸収を抑制
- ・ カドミウムの吸収量の低い品種の選択・導入

【土壤浄化技術】

- ・ カドミウムを吸収しやすい植物を用いて土壤からカドミウムを回収
- ・ 薬剤を用いて土壤中のカドミウムを溶解しやすい形にして土壤を水で洗浄

政策目標

産地における土壤有害物質のリスク低減対策の取組の拡大

1. 事業内容

（1）土壤有害物質のリスク低減技術の評価等

- ① 土壤データに基づく潜在的な農作物の汚染リスクの推定手法の検証
- ② 恒久対策技術
 - ・ カドミウム高吸収植物を用いた土壤浄化技術
 - ・ 薬剤による土壤洗浄技術
- ③ 営農対策技術
 - ・ 豆類、野菜類等に係るカドミウム吸収抑制技術
 - ・ クリーニング作物とカドミウム吸収抑制技術を組み合わせた作付体系

（2）農用地土壤汚染防止法に基づく対策計画策定に当たって必要な調査等の実施

2. 事業実施主体 (1) 都道府県、市町村、農業者団体等 (2) 都道府県

3. 交付率 定額（1／2以内）

4. 事業実施期間 平成17年度～21年度

5. 平成20年度概算決定額

食の安全・安心確保交付金

2, 345（2, 513）百万円の内数

【担当課：消費・安全局 農産安全管理課】